

大内中だより



さつきの丘

Webページはこちら→

令和8年10月7日
第24号



『爆裂！青春すぎて滅』～限界突破の大中祭～

10月3日（土）、「天衣無縫～爆裂！青春すぎて滅～」のテーマの下、大中祭2026が開催されました。

当日は天気にも恵まれ、ポスターでの宣伝の効果もあってか、ご家族をはじめ、小学生、高校生、地域住民の方々など多くの皆様にご来場いただき、保護者席もほぼ埋まり、体育館後方やギャラリーで立ち見の観客が出るほどでした。

開祭式でオープニングVTRが放映され大中祭がスタートしました。はじめに合唱コンクールが行われ、どの学年も素晴らしい合唱でした。（結果：右表）そして、ステージ発表では、吹奏楽コンサート、科学部発表、英語暗唱弁論、大中ソーラン、生徒有志発表の順で日頃の練習の成果を披露しました。特に有志発表では、11組の皆さんが発表し、声援あり、拍手あり、笑いあいのステージとなりました。

今年度は生徒の皆さんに「失敗を恐れず挑戦してほしい」とお話していますが、まさに限界突破の大中祭になったと思います。実行委員会をはじめ各部門3年生の皆さん、本当によく頑張りました。お疲れ様でした。そして、ご来校いただいた皆様、生徒の取組を温かい目で見守っていただき、ありがとうございました。

☆合唱コンクール結果☆

最優秀賞	3年A組
優秀賞	1年生
優良賞	2年A組



合唱：1年生



合唱：2年A組



合唱：3年A組



吹奏楽部演奏と特別ゲストの歌唱



学校祭のテーマにもなっている「滅ポーズ」で記念撮影



科学部発表



英語暗唱弁論



大中ソーラン



ライブアーカイブ



動画編集版

↑
大中祭の様子は動画で！

前期終業式…生徒発表より

前期の振り返りと後期の抱負

1年A組 菊地 ** さん

僕は、前期、1Aの学級委員長になりました。はじめは、自分にできるだろうか、みんなをまとめられるだろうかという不安もありましたが、学級みんなが僕をサポートしてくれたので、その役割を責任をもって務めることができました。学年集会での挨拶や号令など、回を繰り返すうちに徐々に慣れてきて、やりがいも感じるようになりました。僕を支えてくれた学級の皆さんに感謝です。

個人としての目標は、テストで目標点を設定し努力することを心がけました。しかし、努力はしたのですが、目標点に届かず悔しい思いをしたので、後期は、今まで以上に学習時間を増やして、目標点をクリアできるように頑張りたいです。

前期は、運動会や大中祭など、さまざまな行事がありました。その中でも特に大中祭での大中ソーランが印象に残っています。なぜなら、大中ソーランは、心をひとつにしなければ、迫力ある演技や観客の皆さんを感動させることができないからです。僕は、練習時間は少なかつたけれど、その時間を有効活用し、真剣に取り組んできました。その結果、アンコールももらい、僕にとって素敵な思い出になりました。僕は、ここで、努力は報われることを学びました。後期も、すぐ結果がでなくても、何事にも粘り強く努力を続け、前向きに行動していきたいと思います。

後期が前期同様、いやそれ以上の充実した日々になるように意識を高めて過ごしていきたいです。1Aの皆さん、学年の皆さん、先輩方、先生方、これからもよろしくお願いします。

前期を振り返って

2年A組 大類 ** さん

私は、中学校二年生になってから、頑張ろうと決めたことがあります。

それは、文武両道です。一年生の時は、勉強が疎かになったり、部活動が疎かになったりなど、極端になってしまいうことが多く、結果がなかなか出ませんでした。しかし、二年生になって将来やりたいことが見つかり、文武両道を頑張ろうと心に決めました。

勉強では、苦手な英語を中心に、均等にノートに学習していきました。昼休みには猪股先生に個別学習をお願いして、分からなかったところを教えてもらい、克服しようと頑張ることができました。部活動では、強くなるために、自分の足りない技術を監督に聞いたり、オンラインで自分のフォームを見てもらい改善したりしました。勉強も部活動も一人で分からなくて悩んでいるよりも直接聞くと頭に入ってくることを学びました。

文武両道を実行するのは難しく、初めの頃はなかなか結果が出なくて何度もやめようと思いました。しかし、徐々にできるようになっていき、今まで続けて良かったと思いました。

また、前期は運動会や大中祭などにも全力で取り組みました。

運動会は、足の筋肉が炎症を起こしてしまい、本番に万全の状態で出られるか不安でした。しかし、自分でも満足のいく結果を出せて、団でも総合一位になり、諦めないことがどれだけ大切かを再確認できました。

大中祭では、有志発表に力を入れました。最初は、全く息が合わず、本番まで完成するか不安でした。しかし、少ない時間を使って合わせていき、本番は完璧に踊ることができ、協力してやるのが大切だと改めて気付かされました。

後期は、二年生が学校の代表となります。自分のことよりも、みんなのことを考える時間が多くなると思いますが、時間の使い方を考え、生活リズムをしっかり整えて文武両道を続けて頑張りたいです。

前期の振り返りと後期の抱負

3年A組 松永 *** さん

私が前期に力を注いだことは三つあります。

一つ目は学習です。三年生になり、受験を意識することが増えました。一・二年生の時は一つ一つの授業に集中して取り組んでいましたが、今年は様々な学びを結びつけて考えることができました。例えば、数学で学んだ二次関数が、理科の運動の学習でも大事になることです。ある教科で学んだことが他の教科を考えると役に立つことがあると気付くことができました。

二つ目は部活動です。今年は私たち三年生が主体となり、部活動全体を引っ張ってきました。悔しい思いをしたときもありましたが、金賞を目指して努力した日々は決して無駄ではなかったと思います。三年生の仲間はもちろん、後輩たちとも笑顔の絶えない毎日でした。つらいと思ったときもあったけれど、続けていてよかったと今は思います。最後の定期演奏会があるので、笑顔でやり切りたいです。

三つ目は、大中祭です。今年の大中祭は特に、装飾部門がとても楽しかったです。フォトフレームをつくるという、今までに無いアイデアを実現させることはとても大変でしたが、たくさんの人の協力のおかげで完成させることができました。実際に写真を撮ってくれた人もいて、嬉しかったです。3年A組で出た有志発表や、最高のハーモニーを奏でることができた合唱コンクールもあり、三年間で一番思い出に残る大中祭になりました。

こうして振り返ると、様々な挑戦をすることで成長し、充実した日々を過ごすことができたのだと思います。後期には、さらに大きな挑戦である、受験があります。3A全員で意識を高め合い、全員合格できるようにがんばりたいです。